

卒業おめでとう

二組担任 星 清孝

思い出多い三年間が、終わろうとしています。みなさんの中には、次の一步を踏み出さなければならぬ今の社会に漠然とした不安を抱いている人も多いことでしょう。

世間はみなさんが思うほど厳しいところではないし、かといって甘いところでもありません。それはみなさんが社会ときちんと向かい合っているかどうかにかかっているのだと思います。時代は目まぐるしく変化し、これまでの価値観が意味を失っています。まして、これだけ情報化が進んでいくと、情報を追いかけることに精一杯で自分自身が存在する意味すら見い出せなくなってしまうような気がします。

とりあえず、回りに流されず、自分の気持ちに正直に生きれば良いと思います。「何かおもしろいことはないか。」と他人に問う前に「自分は何かをおもしろいと感じるのか。」を考えてみましょう。急ぐことではない、ゆっくりいこう。健闘を祈る。

無限の可能性を信じて

三組担任 安部美代子

卒業おめでとう。中学校を卒業したばかりのあどけない面影で入学してきたあなたたちが、この葵高校で三年間を過ごし、今、それぞれの未来に向かって力強く羽ばたいてゆく姿を頼もしく思います。

これから先、あなたたちの人生にはさまざまなことがあるでしょう。楽しいこと、嬉しいことだけでなく、つらいことや苦しいこともあるかもしれません。でも、あなたたちのまっすぐな生き方を忘れず、自分の無限の可能性を信じてひたむきな努力を続けなさい。自分の人生は、自分で創りあげるものです。あなたたちの「これから」に幸多かれと祈りながら、ずっと応援しています



生活の記録より

四組担任 齋藤 功

生徒諸君は毎朝、前日の「生活の記録」を書いて担任に提出した。そこに書かれた「つぶやき」を読んで、担任のコメントを書くことが毎日の楽しみだった。以下に十二月・一月の生徒の「つぶやき」をいくつか載せよう。

- 眠気につけない根性を持つぞう！勉強バ力になろう！
- 受験ってだけでイライラしちゃうけど、家族に感謝したい。
- 自分を信じればいよいよって姉に言われて、ちょっと気が楽に。
- 伸び代をじわじわと感じてる。勝負はこれから！
- 稽古堂は四組率が非常に高く、皆でがんばってる感が出て、すごくいいです。
- 一日十五時間はrustですよ。絶対追い越す。強い気持ちで！！

生徒諸君はこんなにもけんげに、日々自分を励まして頑張ってきた。そして、それは担任を励ましてくれる言葉にもなった。ありがとう。

よい思い出は底力

五組担任 岩波 定裕

約三年間ありがとう。



祝 卒業

六組担任 白井 健郎

昔、密かに応援していたスポーツ選手に「一ノ矢充」がいる。身長一六五cm、体重七十五kgで琉球大学理学部物理学科を卒業後、決まっていた高校物理の教職を蹴ってプロスポーツ選手になった。テレビや新聞などに成果が載ることもないマイナーな選手であったが、たまたま見た新聞記事がきっかけでファンとなった。

彼は既に引退してしまつたが、実は元大相撲序二段の力士。縦割り実力主義の角界において、当時の横綱朝青龍が「一ノ矢さん」とさん付けで呼び、「彼ほど恐ろしい力士はいない」と一目置いていた。朝青龍も彼の間人そのものに敬意を表してのことだったのだろう。引退直前、四十三歳の一ノ矢が、「まだ納得のいく四股が踏めない」と言っていたように、いつまでも高い向上心や探求心を持った人物であった。

さて皆さん、卒業おめでとう。今後それぞれの目標に向かって突き進んでもらいたい。そして、いつまでも一ノ矢のように向上心や探求心を持ち続け、勉学に励んで欲しい。いつまでも。